

# 自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 三菱電機(株) 高周波光デバイス製作所

## 1 環境保全活動に関する方針等

### 1 - 1 環境保全活動に関する方針

高周波光デバイス製作所は半導体デバイスの開発・製造機能を有し、電気エネルギー、化学物質等を大量に使用しており環境に及ぼす影響は大きい。

当所は地球環境と地域社会に調和した事業活動を推進するために、環境方針を以下の通り定め、事業経営との共生を図りながら当所の事業活動、製品サービスの全てに適用し、持続可能な発展を目指す循環型システムの追求に取り組むと共に、継続的な向上及び汚染の予防を図る。

更に、09年度より新たに始まる「三菱電機グループ第6次環境計画」に沿って目的・目標を明確にし、環境管理活動を推進する。

1. 環境重点管理テーマとして以下の事項に取り組む。

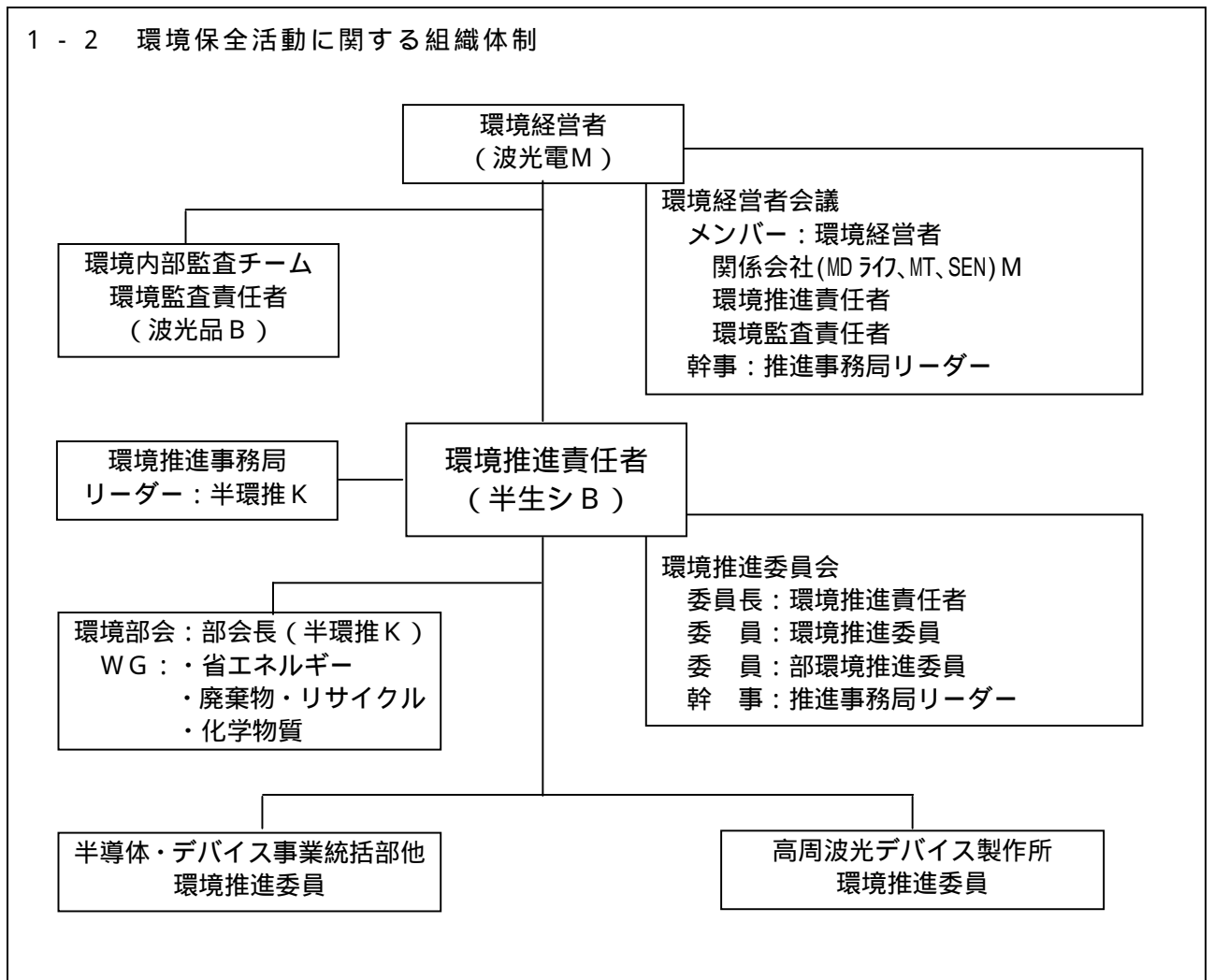
- (1) 環境配慮設計(DFE)の推進 [DFE:Design For Environment]
- (2) 環境負荷低減の推進(グリーン調達、物流における環境負荷低減、製品使用時のCO<sub>2</sub>排出削減、製品含有化学物質規制対応、リスクコミュニケーションの推進他)
- (3) 生産時CO<sub>2</sub>排出量削減
- (4) 廃棄物の削減及びゼロエミッションの継続
- (5) 化学物質使用量の削減

テーマ達成の為、環境目的・目標を設定し、具体的な活動の展開を図る。

2. 環境関係法、条例及び高周波光デバイス製作所が受入れた協定等の要求事項を遵守する。
3. 風致地区にある当所周辺の自然環境を大切にすると共に、関係官庁、地域住民、取引先と積極的にコミュニケーションを図る。
4. 当所外の波光電関係会社の環境管理についても、環境監査等を通じて管理活動を支援する。
5. 当所内関係会社を含む全従業員に環境方針を周知させると共に、環境教育・広報活動等により家族を含んだ環境意識の向上を図る。

この環境方針は当所外へ公開する

1 - 2 環境保全活動に関する組織体制



## 2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
エネルギー対策 (地球温暖化対策)	<p>下記取り組みを実施したが、08年度目標(エネルギー起源CO2排出量を05年度に比して実質生産高原単位で6%の削減)に対し、景気後退、単価下落の影響が大きく達成率74%となった。</p> <p>冷水発生設備：R-12冷凍機の更新2台            空気調和設備：低稼働空調機2台停止と外調機再熱温度変更            冷却水設備：冷水ヘッダー圧力調整            排気処理設備：酸スクラバー1台と助燃BOXファン停止            照明設備：照明間引き            真空発生設備：真空除塵ポンプ運転方法の改善</p>	<p>エネルギー起源CO2排出量(電気・都市ガス)を08年度に比して処理工数原単位で11年度迄に15%削減する。</p>
廃棄物対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼロエミッションの継続</li> <li>・紙類の有価物化</li> <li>・梱包クッション材のリサイクル化</li> <li>・廃油の有価物化</li> </ul>	<p>ゼロエミッションの継続            廃OA機器の有価物化            廃食用油の燃料化</p>
環境マネジメントシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO14001認証取得済み(1997年)</li> </ul>	<p>環境マネジメントシステムの維持向上</p>
環境教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全に関する従業員教育を実施</li> </ul>	<p>環境保全に関する従業員教育の徹底を図る。</p>
地域社会活動への参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場周辺の有志での清掃活動(1回/日)</li> <li>・工場周辺の社員での清掃活動(6月)</li> <li>・桜を育てる会(有志)参加</li> <li>・夏祭り開催で地域住民との交流</li> </ul>	<p>左記活動の継続</p>